

## 第1回公民館カフェ

第1回公民館カフェが7月30日に月島区民館で開かれました。当日は、がん診断を受けたご本人やご家族、医療者、企業関係者など、さまざまな背景の方々が30名ほど参加しました。まず主催者であるがんサバイバーシップ支援研究部の高橋からカフェの趣旨説明があり、続けて、これからカフェでとりあげたい話題について、お茶とお団子を楽しみながらグループディスカッションが行われました。

以下は、今後とりあげたい話題として挙げたものです。

- ・患者さんの具体的な体験談が聞きたい
- ・就労について、雇用する立場や同僚の意見を聞きたい
- ・就労がうまくいっている人の話が聞きたい
- ・職場へのがんの伝え方の様々なパターンが知りたい
- ・医療者と本音で話し合いたい
- ・今利用できる社会資源・制度が知りたい
- ・がん体験をきっかけにした人間関係の変化が知りたい(患者と医療者のそれぞれの視点から)
- ・障がい者スポーツの指導者の話が聞きたい
- ・がん患者は「かかりつけ医」を持つべきなのか
- ・症状を軽くするエクササイズを教えてほしい
- ・がん体験談をどう一般人に伝えるか
- ・今がんとは関係ない一般の人にも参加してほしい
- ・障害年金の話
- ・がん遺伝子
- ・がんメディア
- ・がん保険のつくりかた、使い方

また、「ときには厳しい話になっても」カフェからの帰り道に「暗い気持ちにならないような」「ああ、面白かったと思えるような」会にしたいですね、という声が聴かれました。

中央区月島という風情ある土地の小さな区民館で始まった小さなカフェです。これから隔月ペースで開催していきますので、皆さまのご参加をお待ちいたします。

(文責 高橋 都)